

心をつなぐ、ひまわり

【理容組合合同イベント「がんばっぺす山田!」・記事11ページ】

No 988

今号の主な内容

共に支え合う地域をめざして
山田町復興計画
町のわだい

2~3
4~7
10~11

CONTENTS

11月1日号 2011



共に支え合う地域をめざして

「ほっとサポートセンター」の活動

応急仮設住宅での生活が始まり3カ月が経とうとしていますが、新しい環境にとまどいや不安を感じている人もいます。町では「ほっとサポートセンター山田」(事業委託先・医療法人晃生会)を開設し、生活支援などを行いながら地域のコミュニティづくりのお手伝いをしています。

地区ごとに拠点を設置

町では、被災者の皆さんが安心して生活を送られるよう、民間事業者や団体などと連携した取り組みを行っています。

その中心として、山田第4仮設団地(下水道処理場予定地内)に「ほっとサポートセンター山田」を設置。▼豊間根▼大沢▼山田▼織笠▼船越の各地区にも拠点となる「ブランチ」を設置し、地域支え合い体制づくりのための事業を行っています。各拠点には生活支援専門員が常駐。生活に関する相談や高齢者の見守りなどを行っています。

仮設団地での課題

仮設団地は、慣れない場所での生活である上に、各地区から

町民が入居し、今まで住んでいた地域のつながりが大きく変化してしまいます。

特に、高齢者の一人暮らしなどの場合は、お隣さんなどの交流がない、どんな人が住んでいるのかわからないなど、環境の変化が不安な気持ちの原因になることもあります。

支え合いのきっかけに

「ほっとサポートセンター山田」では、山田町社会福祉協議会、民生委員、NPO法人などと連携し、毎週関係機関を交えた連絡調整会議を開いて情報の共有や問題が発生した場合の解決策などを協議。また、各団体が協力しながら、住民同士の交流のきっかけとなるよう各種イベントなども行っています。



お元気ですかと声かけをする生活支援相談員

地域で安心して生活していくためには、住民同士の心のつながりが大切。「ほっとサポートセンター」は、住民の皆さんが一歩外へ踏み出し、共に支え合うためのお手伝いをします。お気軽に声をお掛けください。



仮設団地の自治会づくりの話し合いの様子



子供も大人も一緒に参加するハーモニカ交流会



お互いにマッサージを行い親睦を深めます



さんま料理を教える仮設住宅の皆さん

民生委員として地域づくりに協力

現在、民生委員で「お座敷広場」を開いています。毎回新しく参加される方が増え、非常にうれしくなりますね。また、住んでいた地区での参加を希望され、遠くの仮設へ迎えに行くこともあり、地域のつながりの強さを感じます。今後は仮設団地に住む人だけではなく、地域の人と一緒に参加を呼びかけ、新しい地域づくりに協力していけたらと思っています。



坂本照男さん
(船越・73歳)

カフェに参加し絆の大切さ実感



加藤ノブさん
(長崎・70歳)

仮設団地で開かれるカフェに参加し、いつも楽しませてもらっています。色々な地区の人が仮設団地に入り、皆さんの頑張る姿を見ると、自分も頑張る事ができます。今回の震災では、一人では何も出来ない事を実感しました。隣近所で声を掛け合えば、年齢や性別関係なく絆が生まれると思っています。

インタビュー

仮設団地の談話室・集会所の使用申し込みについて

| サポート拠点 | 設置場所 | 電話番号 |
|---------------|----------------------------|---------------|
| ほっとサポートセンター山田 | 下水道処理場予定地内 | 080-1652-9239 |
| ほっと豊間根 | 石峠橋付近集会所 | 080-2827-8362 |
| ほっと大沢 | 浜川目コミセン付近集会所 | 080-1652-7446 |
| ほっとまぎと | 下水道処理場予定地内集会所 | 080-2827-5766 |
| ほっと町民グラウンド | 町民グラウンド談話室 | 080-1653-0122 |
| ほっと猿神 | 猿神農業担い手センター付近集会所 | 080-2827-8051 |
| ほっと船越 | 浦の浜集会所 (田の浜、大浦地区も担当します) | 080-2827-4862 |

仮設団地の談話室・集会所の申し込みは、11月1日から左図の各設置拠点で受け付けています。

▽受付日 月～土曜日
▽時間 午前9時～午後4時

◆問い合わせ 町国保介護課
介護保険係 (☎ 82-3111
1内線134) へどうぞ。

山田町復興計画

各地区で説明会を開催

山田町の未来をどのように思い描いていますか。新しいまちづくりの指針となる山田町復興計画の素案が作成されました。この復興計画の素案に関する住民説明会が10月8日から12日まで開かれ、8会場に1000人を超える町民が参加。町からは沼崎喜二町長をはじめ各課長や県から県土整備部、宮古水産振興センターの職員が出席し、素案に対する質疑応答が活発に展開されました。今号では、復興の基本的な考え方や、県・町が説明した内容をご紹介します。

新しいまちづくり に取り組むために

今回の東日本大震災は、わが国にとって「未曾有」の災害といわれていますが、本町にとつては決して未曾有のものだったとは言いきれません。

歴史を振り返ってみれば、本町ではこれまでも津波によって数多くの犠牲を出しており、明治三陸大津波では3000人近くもの尊い命が奪われるなど、何度も耐え難い経験を積み重ねてきました。町では、このような過去の経験をもとに長い年月をかけて大規模な堤防を整備し、市街地や集落を形成してきました。しかし、今回の大津波はその堤防をいとも簡単に越え、押し寄せた波は人々の暮らしや営みを無残にも破壊し、またも多くの人命と財産を奪い去ってしまいました。

これからの復興で一番大切なことは、「二度と津波による犠牲者を出さない」ことであり、このことを大前提に町民が一体となり、新しいまちづくりの取り組みを進める必要があります。町の将来を担う子供たちのためにも、新しいまちづくりに向けて一歩を踏み出し、この郷土を

もう一度築いていかなければなりません。

復興の基本理念

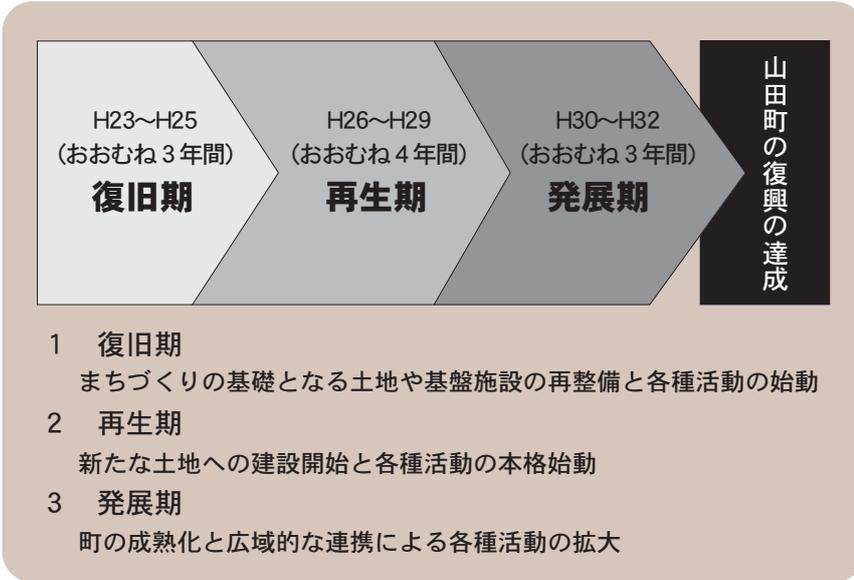
町では、計画の策定に当たり「二度と津波による犠牲者を出さない」ことを前提に、3つの基本理念を掲げました。

- 1 津波から命を守るまちづくり
- 2 産業の早期復旧と再生・発展
- 3 住民が主体となった地域づくり

この1つ目の「津波から命を守るまちづくり」は、主に防潮堤や安全な居住地、防災拠点や避難場所などの整備といった、今後目指すまちづくりの基本となるものです。しかし、これらの施設などの整備を進めていくことで、将来、町の姿が現在と変わることが予想されます。「住みにくい」、あるいは「働きにくい」町となってしまうのは、復興の意味がなくなってしまう。そういったことから、2つ目には「産業の早期復旧と再生・発展」、3つ目には「住民が主体となった地域づくり」といった、町の活力に視点を置いた理念を掲げています。

そして、この3つを基本理念として魅力と活力に満ちた山田

◆計画期間のイメージ



計画期間は10年間

計画期間は、平成23年から平成32年までのおおむね10年間。復興を達成するまでの期間を▼復旧期▼再生期▼発展期——の3つに分け、段階に応じた施策

町を築き上げるためには、町民一人一人が積極的に復興の取り組みに参加することが必要です。

や事業を展開します。

具体的に復興を進めて行く中で、当初想定していたスケジュール通りに全てが進まないことも考えられます。また、限られた財源や人員を投入するに当たっては、町全体の観点に立ち、より効果的で優先性の高い事業から着手するという考え方も必要となります。

このため、ここで示した3つの段階を町全体の復興の目安として、地区の被災状況や町民の皆さんの意向に応じ、柔軟に計画を推進していきます。

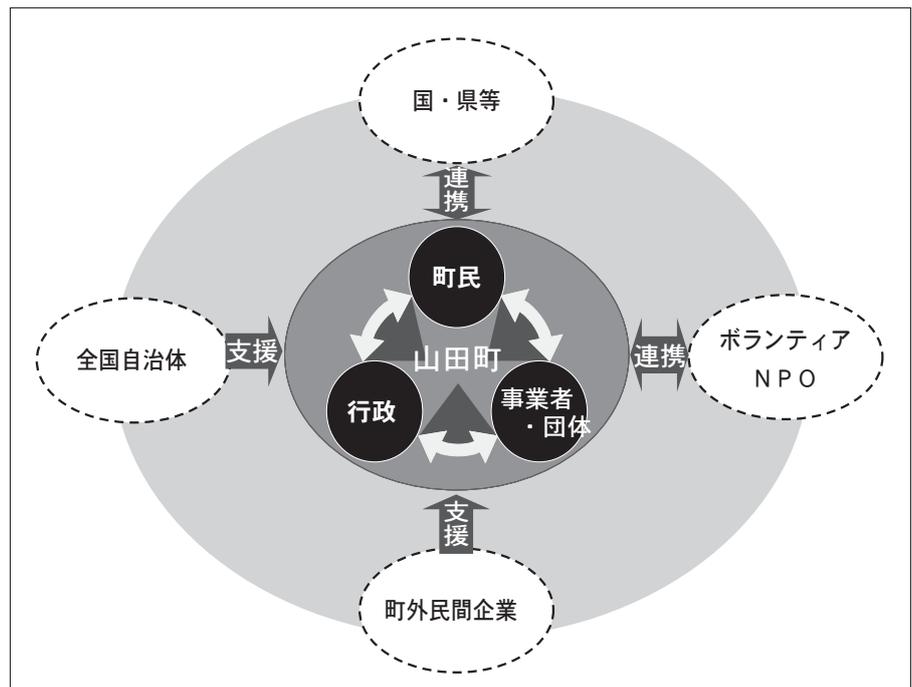
復興の主体

今後の復興に向けて長い道のりを歩み続けるには、被災者と行政だけではなく、町民一人一人が新しい町を再生・発展させていくための主体的役割を担っていくことが重要です。

そのためには、国や県、全国の自治体やNPO法人・ボランティア、民間企業、学識経験者などの支援や協力をいただきながら、それぞれの立場・目線から知恵と力を出し合い、町民と行政が協働して復興に取り組むことが必要です。

また、長い期間にわたる復興の取り組みを町単独の力だけで行うことは、人員的にも財政的

◆復興の主体をまとめた形態図



町民と事業者・行政が主体となり、NPO法人ボランティアなどや産業発展においては民間企業などに支援をいただきながら復興を進めます。

にも困難になることが予想されます。このため、国や県に対して人的支援のほか、復興財源確保のための新たな財政計画の構築などを含めた、町への財政措置についても積極的に要望していきます。また、PPPなどの民間の資本や技術を活用した復興の推進についても検討していきます。

PPPとは

パブリック・プライベート・パートナーシップのこと。官と民がパートナーを組んで事業を行うという新しい官民協力の形態。この新しい形態は地方自治体で採用が広がっています。

まちづくりの方向性

これまで町では、『自主・自律・協働』のまちづくり』を基本目標に、さまざまな取り組みを進めてきました。今回の震災を経てもその基本目標が変わることはありません。

ただし、津波などに対する安全性を確保しつつ魅力と活力を生み出すためには、土地利用や交通体系など、町の姿そのものを大きく変えていく必要があります。

また、今後さらに本格化する少子高齢社会の中で、町がさら



説明会には多くの町民が参加しました（B & G武道場）

に発展し続けていくためには、豊かな自然環境との調和・共生に配慮しながら、身の丈にあつた持続可能なまちづくりを進めるとともに、町民の生活を支える産業の振興と生活サービスの充実を一層推進する必要があります。

土地利用の考え方

土地利用再編の基本となる考え方は次の5つです。

1 被災していない区域は極力
変更しない方向で土地利用を
再編

2 住宅地は津波による被災の
危険性が低い区域に配置

3 十分な避難対策を講じるこ
とを前提として利便性の高い
区域に産業地を配置し、活力
の創出を先導する拠点を形成

4 美しい海や水産資源を活か
した観光レクリエーション空
間の充実

5 住民の交流の場となる防災
機能を有する公園緑地の配置
活力に満ちた町へと発展させ
るため、これらの考え方を軸に
安全・安心な土地利用の再編に
取り組みます。

交通体系の考え方

国道45号は、生活や産業活動



計画案の説明に熱心に耳を傾ける町民

を支える重要な役割を担う広域
幹線道路として位置づけ、三陸
縦貫自動車道は災害時に緊急輸
送や広域避難機能を担う幹線道
路として利用します。

また、災害時にも寸断されな
い高台道路や低地部から高台へ
速やかに移動できる避難道路を
整備します。鉄道は、施設の安
全性確保や利用者の利便性向上
を前提として早期復旧を目指し
ます。

防災施設の考え方

防災施設については、防潮堤
で町を津波から守ることに加え
て、地盤のかさ上げやすぐに避

難できる避難場所の確保など多
重防災の考え方で対策を進めて
いきます。

防潮堤は、明治三陸大津波に
耐えられる高さに整備（県基本
計画）し、東日本大震災レベル
の津波に対しては、地盤のかさ
上げや避難対策の強化によつて
対応。避難場所は、津波によつ
て被災しない場所に配置し、津
波による被災の危険性がある区
域には、緊急避難施設を整備し
ます。

また、広域間・地域間の連絡
性に優れた三陸縦貫自動車道沿
いに災害時の緊急輸送及び支援
物資等の貯蔵・分配が可能な防
災拠点を整備します。

県からの説明

防潮堤の高さについて

県の担当者が、町に建設を予定している防潮堤の高さについて説明しました。

防潮堤高さの基準

防潮堤の高さを決める際の、基準とした津波の水位の設定は、過去に発生した津波を地域ごと



裏側が削れてコンクリートがめくれ上がっている現在の大沢地区の防潮堤

に検証し、数十年～百数十年の頻度で発生している津波を対象にしました。

また、海岸の利用や環境、景観、維持管理の容易性に加え、防潮堤によるせり上がる高さなども考慮しました。

津波の種類を分類

津波が襲来する頻度に基づき「頻度の高い津波」と「最大クラスの津波」に分類しました。

「頻度の高い津波」とは、発生頻度が数十年～百数十年のもので、この津波に関しては、防潮堤で生命や財産、産業などの経済活動を守ることを目標としています。

「最大クラスの津波」とは、発生頻度は低い「頻度の高い津波」よりも規模が大きい津波です。これに対しては、町民の生命を守ることを最優先にして、避難を軸に土地利用や避難施設の整備などを総動員する『多重防災型』の考え方で被害の軽減を目指すこととしています。

粘り強い防潮堤へ

今回の津波により防潮堤を越えた水が、防潮堤裏側の地盤を削り、防潮堤本体が崩壊するケースがありました。そのため、従来よりも底幅を広く取り、傾斜が緩やかなどつしりとした壊れにくい構造の堤防の建設を検討しています。

防潮堤の高さは

県が示した防潮堤の高さは山田湾が9・7メートル外洋に面した船越湾は12・8メートルとなりました。（大浦地区と浦の浜の高さについては調整中）湾の形状や海岸線の向きなど



現在の山田地区の防潮堤の様子

復興推進課からのお知らせ

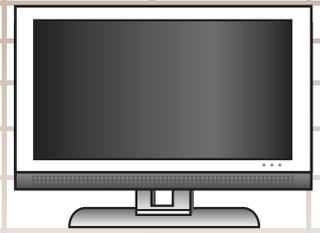
まちづくり整備のための事業制度に関する講演会を開催します

町では、津波で浸水した区域またはその地域にお住まいの方、お住まいだった方を対象に、集団移転等についての講演会を開催します。専門家を迎えて、事業の概要（規模や期間）、国からの補助等について講演します。

- ◇日時 11月17日(木)午後6時～8時
- ◇場所 中央公民館小ホール
- ◇申込方法 当日に直接来場可
- ◆問い合わせ 町復興推進課計画係（☎82-3111内線637）へ。

の自然条件と、過去に発生した津波の高さのシミュレーションから、海岸を24の区域に区分。その結果、山田湾と船越湾で高さが異なる防潮堤が建設されることになりました。防潮堤は平成27年の完成に向けて建設を行っています。

地デジの準備は 大丈夫ですか？



アナログ放送は3月31日で終了です

来年アナログ放送終了

ご相談ください

来年3月31日、テレビのアナログ放送は終了し、地上デジタル放送に完全移行します。

現在、アナログテレビをご覧の方は、そのまま何もしないでいると半年後にテレビを見るのができなくなってしまう。

テレビを買い、地デジを見ようとしても映らないことがないように、アンテナや宅内施設がデジタル放送に対応しているか、確認も忘れずに行いましょう。アナログ放送終了直前だと工事業者さんの対応が間に合わない可能性もあります。直前であわてないよう、お早めに地デジ化の準備をしましょう。

デジサポ岩手は『地デジ化レスキューカー』で町内を巡回し、地デジに関するさまざまな相談や受信テスト、市町村民税非課税世帯への「地デジチューナー支援等」申し込みのサポートなどを行っています。

◇巡回日

11月7日(月)～11日(金)

11月28日(月)～12月2日(金)

12月19日(月)～22日(木)

来年1月10日(火)～13日(金)

◇巡回実施時間 午前10時～午後4時まで

◆問い合わせ

デジサポ岩手相談グループ (☎0191-60412637) へどうぞ。

経済的な理由で地デジを見られない方へ

簡易チューナーを無償給付します

総務省は経済的な理由などで地上デジタル放送を見ることができない世帯に対して、簡易チューナーを無償で給付するなどの支援を行います。

◆支援を受けられる世帯

- 1 NHKの放送受信料が全額免除となる世帯(被災世帯含みます)
- 2 世帯全員が市町村民税非課税の世帯

◆支援の内容

現在お持ちのアナログテレビに取り付ける簡易チューナー(1台)の無償給付します。また、アンテナなどの改修等(共同受信施設の改修経費などの必要最低限の改修経費を含む)の支援も行います。

※支援は来年3月31日まで行います。

◆問い合わせ 地デジコールセンター (☎0570-07-0101) デジサポ岩手 (☎019-903-0101) へどうぞ。

山田消防署からのお知らせ

◆問い合わせ 山田消防署 (☎82-3139)

11月9日は「119番の日」

通報は落ち着いて正確に

11月9日(水)は「119番の日」です。119番通報をするときは、次のポイントを踏まえ、落ち着いて正確に伝えましょう。

- ▷ 火事か救急の種類
- ▷ 発生場所の住所や目標物
- ▷ 火事、事故等の状況、ケガ人や急患の状態など
- ▷ ケガ人・通報者の氏名と電話番号
- ▷ 携帯電話から通報した場合は消防署から問い合わせをする事がありますので、電源を切らず現場付近の安全な場所で待機してください

地震発生や津波警報等発表中でつながりにくい場合は、宮古消防署 (☎62-5533) または携帯電話から119

番に通報してください。あなたからの詳しい情報が消防隊・救急隊の迅速な行動につながります。



11月9日～15日

秋季全国火災予防運動

「消したはず 決めつけしないで もう一度」をスローガンに、11月9日から15日まで秋季全国火災予防運動が行われます。これからの季節は空気が乾燥し、火災の起こりやすい気象状態が続きますので火の取り扱いには十分注意しましょう。

◎火災予防パレードを開催

- ▷ 日時 11月6日(日) 午前9時～
- ▷ 内容 消防車両パレード(町内全域)

町長交際費と旅費・食糧費の執行状況

町では、より公正で透明な町政を運営するため、四半期ごとに町長交際費と旅費・食糧費の執行状況（支出額）を公表しています。今回お知らせするのは、平成23年度予算（一般会計、特別会計、水道事業会計）の第1・四半期（4月1日～6月30日）と第2・四半期（7月1日～9月30日）のものです。

町長交際費は、町長が行政執行上に必要な外部との交際に要する経費で、主なものは各種総会・大会などのお祝い金です。第2・四半期時点での全体の執行額は前年同期より78%減の10件分、10万円が支出されています。

◆町長交際費の執行状況

| 項目 | 件数 | | 支出額(千円) | |
|-------------|-----|----|---------|-----|
| | 当期分 | 累計 | 当期分 | 累計 |
| 総会・大会などの祝い金 | 1 | 1 | 5 | 5 |
| 会費・負担金 | 3 | 3 | 20 | 20 |
| 寸志など | 1 | 1 | 10 | 10 |
| 激励金 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 見舞金 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 折衝・懇談 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 香典 | 5 | 5 | 65 | 65 |
| 土産品 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 合計 | 10 | 10 | 100 | 100 |

◆旅費・食糧費の執行状況

(単位:千円)

| 課名 | 旅費 | | 食糧費 | |
|------------|-------|-------|-----|-----|
| | 当期分 | 累計 | 当期分 | 累計 |
| 総務課 | 2,078 | 2,078 | 0 | 0 |
| 企画財政課 | 38 | 38 | 0 | 0 |
| 復興推進課 | 29 | 29 | 0 | 0 |
| 税務課 | 40 | 40 | 0 | 0 |
| 農林課 | 149 | 149 | 5 | 5 |
| 水産商工課 | 405 | 405 | 2 | 2 |
| 町民課 | 33 | 33 | 0 | 0 |
| 国保介護課 | 109 | 109 | 0 | 0 |
| 健康福祉課 | 186 | 186 | 5 | 5 |
| 建設課 | 122 | 122 | 0 | 0 |
| 上下水道課 | 157 | 157 | 0 | 0 |
| 消防防災課 | 4,150 | 4,150 | 0 | 0 |
| 議会事務局 | 217 | 217 | 0 | 0 |
| 選挙管理委員会事務局 | 4 | 4 | 156 | 156 |
| 監査委員事務局 | 6 | 6 | 0 | 0 |
| 農業委員会事務局 | 128 | 128 | 0 | 0 |
| 学校教育課 | 156 | 156 | 0 | 0 |
| 生涯学習課 | 166 | 166 | 0 | 0 |
| 合計 | 7,976 | 7,976 | 173 | 173 |

固定資産評価審査委員会委員

貫洞さんと昆さんを再任

9月22日に開かれた町議会臨時会で、固定資産評価審査委員会委員に貫洞征功さん(67)と昆裕司さん(63)を再任することが同意されました。

任期は10月9日から向こう3年間です。固定資産評価審査委員会委員は、固定資産課税台帳に登録された価格について、納税者から不服の申し立てがあった場合に価格が正しいかどうかを審査し、決定することを任務とします。



貫洞 征功 さん

【略歴】昭和42年東洋大学卒。法務省訟務局職員、東京法務局訟務部職員などを経て50年貫洞征功司法書士・行政書士事務所を開設。



昆 裕司 さん

【略歴】昭和46年明治大学卒。58年昆裕司司法書士事務所を開設。岩手県立大学宮古短期大学部非常勤講師。

教育委員長に山崎喜六さん



山崎 喜六 さん

【略歴】明治学院大学卒。平成4年宮古市立重茂中学校校長、平成7年山田町立豊間根中学校校長、平成9年山田町立山田中学校校長を歴任。平成13年に宮古市教育事務所で教育相談員を5年間務め、現在に至る。

7月11日に開かれた町議会臨時会で、教育委員に山崎喜六さん(70)が新任されました。任期は7月19日から向こう4年間です。また、7月26日には定例教育委員会が開かれ、委員の互選により山崎さんが委員長に選ばれました。教育委員会は、町の教育の中立性を保持し、教育に関する方針の決定、教育・文化の振興を図るため5人の教育委員で組織する執行機関です。

町長旗争奪スポ少野球大会 豊間根スポ少が優勝を飾る

10月1日と2日、第23回町長旗争奪スポーツ少年団野球大会が開催されました。大会は町総合運動公園で行われ、町内の少年団7チームが出場。選手たちは日ごろの練習の成果を発揮し、打撃に守備にと随所に光るプレーを見せていました。熱戦の結果、決勝で10対3と磐石な強さを見せた豊間根野球スポ少が優勝。準優勝に織笠野球スポ少が輝き、最優秀選手賞には豊間根野球スポ少の佐々木海斗君が選ばれました。また、2日には第1回井上義一旗争奪中学校野球大会も行われ、山田中学校が優勝しています。



豊間根小で大道芸イベント 妙技の連続に目がくぎ付け

東京都の路上アーティスト登録制度に所属する6組のアーティストが10月5日、豊間根小学校体育館で多彩な大道芸のステージを披露しました。「東京都による芸術文化を活用した被災地支援事業」として実施された今回のイベントは、軽快なリズムで会場を盛り上げたストリートジャズ演奏や、登場と同時に注目を一斉に集めた人気のヨーヨー、技が決まるたびに思わず息を飲む中国雑技アクロバットなどバラエティ豊かで楽しめる内容となりました。目の前で次々と披露される華麗でユーモア満載の演技に、会場は終始笑いと拍手に包まれていました。

津波に負けずに育った稲 「ど根性米」を無事に収穫

福士新一郎さん(74)＝大沢＝が津波をかぶった水田の一部約1㌖で育てていたあきたこまちが見事に育ち、10月5日に稲刈りが行われました。自宅横での倉庫に保管されていた稲の種もみは津波により被災しましたが、芽が出ているのを発見した福士さんは田植えを決意。水田にはガラスなどのがれきが多く残っていて、家族や仲間と共に手作業で一つ一つ取り除きました。9月の台風で稲が倒れるなど何度もアクシデントに見舞われましたが、毎日朝夕と欠かさず様子を見てきた稲は、塩害にも負けず高さ約1㌖ほどに立派に育ちました。収穫作業をしながら稲に実ったお米を一つ一つ確認する福士さんの表情は、穏やかにこれまでの苦労をかみ締めているようでした。



津波に負けずに育った稲の实りに感謝し笑顔の福士さん(上写真)／収穫はご家族3人と助っ人の7人で手刈りを行いました。





今月の題字

道又 ^{リン}凜くん
(大沢小3年)

町のわだい

沿岸の理容組合らが合同イベント 町民の体も心もリフレッシュ

10月10日、沿岸地域の理容組合員らによる合同イベント「がんばっぺす山田！」が保健センターで開催され、多くの人で賑わいました。会場には、理容組合スタッフによる無料マッサージコーナーが開設。日ごろの疲れを癒そうと多くの町民が訪れ、体も心もリフレッシュしていました。また、屋外では町飲食組合による牛丼などのお振る舞いや町内小学生グループによるストリートダンスの披露、社交組合による無料カラオケも開かれ、会場を沸かせていました。



放課後児童クラブでミニ公演 体いっぱい音楽を楽しむ

10月1日、ニューヨークフィルの打楽器奏者のジャスティン・ハインズさんを含む音楽家7人が山田南小の放課後児童クラブで「トモダチ作戦・ウィズ・ミュージック」の公演を行いました。文化交流を通じ、子供たちに元気になってもらおうとアメリカ大使館と任意団体「くらしに音楽プロジェクト」が主催したもので、「ひょっこりひょうたん島」などのなじみのある曲のほか、ハインズさん自らが作曲した「バケツに穴が開いた」を演奏。子供たちはドラムに見立てたバケツを一緒にたたいたり、演奏の中に隠された音を探そうと耳を澄ませるなど体全体で音楽を楽しみました。

船越小児童がストリートライブ 元気に踊る姿に大きな拍手

船越小学校3学年の児童らは、10月4日に船越駅前地域住民を前にソーラン節を披露しました。『ストリートライブ2011』と題して行われたこの催しは、代々受け継がれてきたソーラン節で復興への願いや地域との絆を広めるために企画されたものです。児童ら一人一人は「家族、地域を元気にしたい」、「みんなを喜ばせ笑顔にしたい」などの思いを込めて毎日練習し、ポスターやチラシの作成も行いました。オリジナルの「ロックソーラン」や「ニューソーラン」など3種類のソーラン節を披露し、一生懸命に踊る児童の姿に100人を超える観客から盛大な拍手が送られました。



各種相談あります お気軽にご利用を

- ◎福祉なんでも相談会
仮設住宅集会所を巡回し、福祉に関する相談を受け付けます。
▷期日と場所
・11月10日(木)
午前10時～正午…山谷コミュニティセンター南側仮設団地、午後1時～3時…石峠橋付近仮設団地
・11月17日(木)
午前10時～正午…旧不動生コン付近仮設団地
◆問い合わせ 宮古保健福祉環境センター(☎64-2213)へ。
◎高齢者・障がい者なんでも110番
介護や福祉サービス、年金、法律など幅広い相談に、電話または面接で応じます。
▷日時 11月15日(火)
午後1時～5時
▷場所 岩手県福祉総合相談センター(盛岡市本町通)
▷相談電話 019-625-0110
◆問い合わせ 東海林法律事務所(☎019-623-9511)へ。

被災者の火葬費用 精算期限は11月末

- 県では、3月11日に発生した震災による被災者の火葬について、ご遺族が負担した費用の精算を行っています。
▷対象 ▶今回の震災の際に亡くなった方▶沿岸の被災市町村にいた方で、震災後に亡くなった方▶震災前に沿岸の市町村で亡くなり、3月11日以降に火葬された方
▷対象期間 3月11日から5月10日までの火葬分(震災で3月11日に亡くなった方はこの限りではありません)
▷対象経費 ひつぎや骨壺・骨箱、火葬場使用料、遺体搬送費、遺体の保管料
▷必要書類 火葬許可証の写し、火葬場使用料などの領収証や費用明細書、通帳の写しなど振込口座の分かるもの
▷受付期限 11月30日
◆申請先・問い合わせ 県庁県民くらしの安全課(☎019-629-6876)へどうぞ。

被災者に係る相続放棄などの申し立て 11月30日までに手続きを

- 東日本大震災で亡くなった人の遺族が、相続の承認または放棄することを検討する期間(熟慮期間)が11月30日まで延長されています。
相続放棄は、多額の借金を抱えたままご家族がお亡くなりになった場合などに、財産を含め借金を受け継がないことができる制度です。裁判所で行う手続きの期限がせまっていますので、申し立てをする方は忘れずに手続きを行ってください。
▷対象となる人 平成23年3月11日に対象になる市町村に住んでいて、かつ、平成22年12月11日以降に相続の開始があったことを知った人
◎相続についてご相談ダイヤル
相続問題について詳しくお知りになりたい方は、日本司法支援センター「法テラス」にご相談ください。
▷相談時間 月～金曜日…午前9時～午後9時 土曜日…午前9時～午後5時
◆相談先・問い合わせ 法テラス・サポートダイヤル(☎0570-078374、PHS・IP電話からは☎03-6745-5600)へどうぞ。

個人債務者の私的整理に関するガイドライン

二重ローンなど震災による債務でお悩みの方の生活再建支援します

『個人債務者の私的整理に関するガイドライン』は、震災の影響で債務を弁済できなくなった個人の方に対し、債務整理を円滑に進め生活再建を支援するための仕組みです。ガイドラインの利用により、金融機関と既存の借入れについて弁済方法の変更や債務の減免などを話し合うことができま

す。震災の影響による二重債務などでお悩みの方はご相談ください。
▽主な要件 ▼住宅ローンや事業性ローンなどを借入れている個人の方▼住居や勤務先、事業所、取引先などの生活・事業基盤などが、東日本大震災の影響を受けたこと▼既存の借入れが弁済できないこと
たは近い将来弁済できないこ

- とが確実と見込まれること
▽相談電話 0120-1380-1883(フリーダイヤル)
※相談受付時間は、平日の午前9時から午後5時までです。
◎個別相談会を開催します
個人や個人事業主の方からの相談を受け付けます。事前の予約や参加料は不要ですので、どうぞご利用ください。
▽日時 11月15日(火)
午前10時～午後3時
▽場所 山田町商工会2階
◆問い合わせ 個人版私的整理ガイドライン運営委員会岩手支部(☎019-6060613 622)へどうぞ。

宮古税務署からのご案内

所得税の軽減・免除について

- 東日本大震災により住宅や家財などに被害を受けた方は、震災特例法などにより所得税の軽減・免除が受けられる場合があります。宮古税務署では、被災された方を対象として、所得税についての申告相談を受け付けていますので、どうぞご利用ください。
▷受付日 月曜日～金曜日(祝日を除く)
▷受付時間 午前9時～正午、午後1時～4時
▷場所 宮古税務署(宮古市小山田・宮古合同庁舎2階)

申告相談会を開催します

- 上記の申告に関する相談会を開催します。相談を希望する方は、事前に宮古税務署へお申し込みください。
▷期間 11月10日～18日(土・日曜日を除く)
▷受付時間 午前10時～11時半、午後1時～3時半
※18日は午前のみ受け付けます。
▷場所 町中央コミュニティセンター2階
◆申込先・問い合わせ 宮古税務署(☎62-1921)へ。

おしらせ



まちで出会ったかわいい笑顔

町が木造住宅の耐震診断を実施

町では、木造住宅の耐震診断を実施します。

▷対象住宅 ▶昭和56年5月31日より前に着工された1戸建て▶木造平屋建てか木造2階建て▶床面積の2分の1以上が住宅の用途である▶過去に耐震診断を受けていない——住宅

▷戸数 10戸

▷費用 3,000円

▷受付期間 11月4日～

※受け付けは先着順で、定数になり次第締め切ります。

◆申込先・問い合わせ 町建設課建築住宅係（内線244）へ。

知っていますか 労働保険のこと

労働保険とは『労災保険』と『雇用保険』の総称で、労働者の生活の安定や福祉の増進などを図ることを目的に、国が直接管理運営している保険です。労働者（アルバイトを含む）を一人でも雇用している事業主は、法人・個人を問わず原則として加入が義務づけられています。加入がお済みでない事業主の方は、最寄りの労働基準監督署もしくは公共職業安定所で加入手続きを行ってください。

◎震災に関する労災保険の給付

労働者の方が、工作中や通勤中に地震や津波に遭い、死亡またはまたは行方不明になられた場合、そのご遺族の方は、労災保険による一時金や遺族年金の給付を受けることができます。これらの給付は、市町村が支給する災害弔慰金と併せて受給できます。申請方法など詳しくはお問い合わせください。

◆請求先・問い合わせ 宮古労働基準監督署（☎62-6455）へどうぞ。

子育て中の女性の就職を支援します

ハローワーク宮古では、子育てをしながら働きたい女性のための就職支援セミナーを開きます。参加希望の方は、開催日の前日までにお申し込みください。
◎働きたいけど子供のことが心配という方へ

▷期日 11月22日(火)

▷内容 ▶震災後の子供のメンタルケア▶子育て支援▶マザーズコーナー——について

◎自分や家族のこれからを考え働きたいという方へ

▷期日 11月29日(火)

▷内容 ▶子育て世代の経済事情～将来を見据えたライフプラン作り～▶子育てママ求職活動のポイント

◆時間 午前10時～11時半

◆場所 宮古市民総合体育館 シーアリーナ(宮古市小山田)

◆対象 子育て中で、現在求職中または今後求職予定の女性

◆定員 各20人(先着順)

◆無料託児 生後6カ月から小学校就学前までの子供(各10人まで・要予約)

◆申込先・問い合わせ ハローワーク宮古(☎63-8609)へ。

県内就職希望の方 面接会にご参加を

「いわて就職面接会Ⅳ」が開かれます。

▷日時 11月20日(日)

午後0時半～4時半

▷場所 いわて県民情報交流センターアイーナ(盛岡駅西口)

▷対象 来年3月に大学(院)、短大、高専、専門・専修学校を卒業見込みの人、既卒者、一般求職者

▷内容 県内に事業所がある参加企業との面談、参加団体による職業相談など

※予約や履歴書は不要です。

◆問い合わせ (財)ふるさといわて定住財団(☎019-653-8976)へどうぞ。

鳥インフルエンザ 予防対策忘れずに

ご家庭で飼育している家きん類(ニワトリや七面鳥など)は、渡り鳥から高病原性鳥インフルエンザなどに感染する可能性があります。渡り鳥が飛来する時期となりましたので、鶏舎への野鳥・ネズミの侵入防止や鶏舎とその周辺の消毒など、予防対策をしっかりと行いましょう。

◆問い合わせ 岩手県中央畜保健衛生所(☎019-688-4111)へどうぞ。

精神障がいのある方の家族で交流を

精神障がいのある方の家族が、交流や情報交換を通じ気持ちを共有する家族懇談会を開きます。

▷日時 11月20日(日)

午後2時～4時

▷場所 宮古地区合同庁舎(宮古市五月町)

▷内容 交流会、講話「つながりを大切に」

▷講師 岩手日報社編集局学芸部記者 黒田大介氏(盛岡ハートネット事務局)

▷定員 30人程度(先着順)

◆申込先・問い合わせ 11月17日までに宮古圏域障がい者福祉推進ネット(☎71-1245)へ。

都市計画審議会の委員を募集します

▷応募資格 20歳以上の町民で、町の都市計画に関心がある人 ※公務員や町議会議員、本町の他の審議会委員になっている人は除きます。

▷募集人数 2人

▷委員の職務 山田町の都市計画事業に関する審議

▷任期 12月1日から2年間

▷応募方法 町建設課に備え付けの応募用紙に必要事項を記入して提出してください。

▷募集期間 11月1日～14日

◆応募先・問い合わせ 町建設課計画補償係(内線241)へ。

能力開発セミナー 宮古で開かれます

◎パソコン活用

▷期間 11月17日～18日

▷時間 午前9時～午後4時

▷場所 宮古高等技術専門学校

▷内容 スキャナやデジタルカメラの画像の取り込み、画像編集ソフトによる編集

▷対象 パソコン操作のできる人

▷費用 998円(テキスト代)

▷定員 15人(先着順)

◆申込先・問い合わせ 11月7日までに県立宮古高等技術専門学校(☎62-5606)へどうぞ。

季節性インフルエンザ予防接種

中学生以下の接種費用を助成

町では、日本ユニセフ協会が実施するインフルエンザ予防接種支援事業を導入し、来年2月29日までの間に季節性インフルエンザ予防接種を受ける生後6カ月以上中学生以下の方を対象に、接種費用の一部を助成します。

▷助成金額 1回につき2,000円(2回接種である13歳未満の場合は合計4,000円)

※助成金額を超過する費用は自己負担となります。

▷接種医療機関 うらべ内科クリニック、近藤医院、後藤医院

▷持参する物 母子健康手帳

※町外で接種する場合は、医療機関で費用の全額を支払った後、助成の手続きが必要ですが、来年3月31日までに印かん」と領収書、接種記録が確認できるもの(母子健康手帳など)を持参し、町健康福祉課へお越しください。

◆問い合わせ 町健康福祉課健康管理係(内線142)へどうぞ。

岩手日報中学校書展

佐々木千寿瑠さんが優秀賞



佐々木千寿瑠さん



入選した佐々木さんの作品

筆に込めた一番の願い

第6回岩手日報中学校書展で、豊間根中3年の佐々木千寿瑠さんの作品が優秀賞に選ばれました。受賞したのは、自分の一番

の願いを表そうと書かれた「地域の復興」という作品。受賞した佐々木さんは「山田の皆さんのことを思いながら心を込めて

また、佐々木さんは第17回和歌山県書道資料館書写書道作品展中学生の部でも和歌山市長賞に入選しています。

書きました。少しでも元氣付けられればうれしいです」と話してくれました。

10月29日OPEN

復興かき小屋



山田町観光協会では、殻付きカキの蒸し焼きが食べ放題の店「復興かき小屋」の営業を再開します。本町の海で育ったカキを存分にご堪能ください。

◎営業時間 午前11時～午後3時
(午後2時ラストオーダー)

※定休日は水・木曜(祝日の場合は営業します)

◎場所 山田町船越 浦の浜

◎料金 (40分間食べ放題・ライス付)
大人(中学生以上) …2,500円
小学生 …1,500円

※小学生未満は無料です。

※各種お飲み物(ビール、お酒、お茶など)も別途販売いたします。

◎利用方法 完全予約制となります。前日までに電話でお申し込みください。(申し込み人数は2人～40人まで)

※10人以上から団体割引がございます。

◆予約先・問い合わせ 山田町観光協会
(☎84-3775) へどうぞ。

町長室から

10月1日夕刻、浦の浜ガレキ置き場で発煙が発見されて以来、消防団による放水を継続したものの消煙に至らず、13日には県の防災ヘリコプターの出動を要請するも効果が薄かったことから、同日午後1時30分に全分団出動指令が発せられました。14日からは交替で24時間体制を組み放水に当たったほか、宮古市消防団、大槌町消防団からの支援も要請しました。その結果、ようやく22日に至り消煙を確認したところです。長時間にわたって活動された消防団、建設業会、NPOなど関係者の皆さまに御礼を申し上げます▼船越湾漁協が10月12日、三陸やまだ漁協が20日、それぞれ魚市場を相次いで再開しました。資材不足により施設・設備の復旧が遅れている中でも、まず求められていたのが魚市場でした。これから秋サケの盛漁期を迎えますが、一日でも早く浜に活気が戻ることを祈念しております。

山田町長 沼崎 喜一



山田発の名産を作りたい



県ふるさと食品コンクール最優秀賞受賞
大杉 繁雄さん（飯岡・64歳）

「受賞を聞いた瞬間は驚きました。今は本当にうれしいです」と話すのは、飲食業を営む大杉繁雄さん。県ふるさと食品コンクールに出品した「山田のおみごと」が最優秀賞を受賞しました。

同商品は山田湾で採れたアカモクをつくぐだ煮にしたもので、食物繊維やポリフェノールを多く含むアカモクの若芽だけを柔らかく煮たものを使用。シャキシャキ感の中にも柔らかさがあるこのつくぐだ煮は、焦がさないようにかき混ぜながら弱火で煮続けなければならぬ、手間暇かけた「みごと」な逸品です。

商品は山田湾で採れたアカモクをつくぐだ煮にしたもので、食物繊維やポリフェノールを多く含むアカモクの若芽だけを柔らかく煮たものを使用。シャキシャキ感の中にも柔らかさがあるこのつくぐだ煮は、焦がさないようにかき混ぜながら弱火で煮続けなければならぬ、手間暇かけた「みごと」な逸品です。

商品化が決まり3月17日にお披露目となるはずでしたが、津波によって用意した商品は全て流出。一度は商品化をあきらめかけた大杉さんでしたが、周りの方々の言葉に励まされ「みんなに食べてもらいたい」との気持ちから、震災1カ月後には岩手県アカモク生産協同組合に問い合わせをし、奇跡的に被害を免れたアカモクで再び商品化に向けて動き出しました。

現在は、自宅1階にある厨房で商品を作り、瓶詰めやシール貼りなどは家族総出で一つ一つ行う大杉さん。「たくさんの方の支えに感謝しています。今後は、山田の食材を生かし、新しい商品に挑戦していきたいです」と次への意欲をのぞかせていました。

キッチンスタジオ No.38

ハーモニー

このコーナーでは、町管理栄養士や山田町食生活改善推進員連絡協議会の皆さんが手軽にできるお弁当や郷土料理、旬の食材を使った料理などをご紹介します。今回は、里芋とシイタケを使った「晩秋2種盛り」です。

【材料（2人分）】

- 里芋…2個 生シイタケ…2個
- マヨネーズ…適量 しょうゆ…少々
- ④みそ、みりん、砂糖、だし汁…各大さじ1

【作り方】

- ・里芋のきぬかつぎ甘みそ味
 - ①里芋はよく洗い、皮付きのまま鍋に入れ水からゆでる。竹串がすっと通るくらいに柔らかくなったら、ぐるっと一回り包丁で切り込みを入れ、軽くひねって皮を取る。フォークでなめらかになるようにつぶし、水で手をぬらし丸い形にする。
 - ②耐熱容器に④を入れてよく混ぜ、ラップをせずに電子レンジ（500W）に1分間かけよく混ぜる。
 - ③器に里芋を盛り、②の甘みそをかける。
- ・シイタケのマヨネーズ焼き
 - ①生シイタケはキッチンペーパー等で汚れをふき取る。軸は5mmくらい残し切り取る。
 - ②マヨネーズをしいたけの内側に円形にこんもりとしぼり、ほんの少々しょう油をたらす。
 - ③アルミホイルで包み、魚焼きグリルを中火にし、10分位焼くと出来上がり。

里芋とシイタケの晩秋2種盛り



ワンポイントアドバイス

素材の味をそのまま生かした簡単料理です。里芋のネバネバは胃に優しく、塩分や脂肪分の取りすぎにも効果があり、皮付きのまま調理するのが一番ですよ。お弁当にもおすすめです。





木戸脇 みなみ
(後楽町・雄辰・女)



新家 宏 大
(飯岡・宏身・男)



古川 七 葉
(織笠・浩・女)



富山 陽 依
(境田町・慎太郎・女)



佐藤 一 咲
(飯岡・勝信・女)



関 こ ず え
(豊間根・智一・女)



佐々木 珠 杏
(織笠・泉・女)



伊藤 芽 依
(大沢・愛果・女)



山崎 陸 虎
(飯岡・真也・男)



船越 文 子
(船越・達・女)



西口 将
(豊間根・善雄・男)



伊 山 瞳
(大浦・竜一・女)



佐々木 運
(豊間根・健・男)



佐藤 穂 花
(境田町・吉将・女)



広 田 瑞
(川向町・政彦・女)



木村 芽 依
(豊間根・響・女)



佐々木 美 智
(船越・貴幸・女)



中 鉢 瑛 斗
(飯岡・良樹・男)



篠 山 曼 人
(後楽町・理沙・男)

これまで掲載できなかった皆さんを数カ月ずつ掲載していきます。今月は、6月と7月生まれです。【敬称略、()内は地区名・保護者・性別】

町民のうごき

(9月1日～30日)

- ▷出生……5人 ▷転入……43人
- ▷死亡……11人 ▷転出……54人

▷人口…17,735人 (今月減17人)
男…8,584人 女…9,151人
▷世帯数………6,801世帯

おめでとう・おくやみ

9月届出分 (敬称略)

〔出生〕 () は保護者と性別
▷山田 山崎栄奈 (裕也・女)、佐々木友莉愛 (幸博・女) ▷大沢 山本庵慈 (穂・男) ▷織笠 佐々木瑛和 (英則・男) ▷豊間根 芳賀莉凰麗 (義幸・女)

〔結婚した二人〕 () は住所
▷菊池祥平 (釜石市)・福館美沙紀 (船越)
▷鈴木淳一 (長崎)・細越佳寿美 (宮古市)
▷上野亮 (大槌町)・千代川佳衣 (大沢)
▷豊間根仁 (豊間根)・細川深雪 (八幡町)
▷柏崎潤 (宮古市)・山崎光枝 (田の浜)

〔死亡〕 () は年齢
▷山田 阿部久子 (73)、菊池喜次郎 (86) ▷船越 荒川弘人 (58) ▷田の浜 昆野カト子 (89)、田代マサ子 (60) ▷織笠 福士フジ (89)、篠澤由太郎 (78)、坂本吉孝 (55) ▷荒川 斉藤冬 (76)

ピンボケ

◆10月16日に公民館横で桜が咲きました。きれいに咲く季節は、ずれの桜に気持ちがあはれ。私の向かいでは季節はずれの半そでで元気に働く先輩。気持ちの若さは見習いたいです。

◆町民芸術祭を取材。多彩な作品から「地域から元気を発信しよう」という気概が伝わります。

▼町内の児童生徒たちもスポーツに文化に大活躍。皆さんの歩みに励まされる毎日です。